

「利用でつなぐ 復興・再生」をかかげて

商品案内31号、32号、35号(予定) JA伊達みらいの桃



桃の産地といえば第1位は山梨県、そして第2位が福島県です。その福島県の桃は原発事故による放射能問題の影響で大打撃を受け、生産者は苦境に立たされています。食べ物の安全を確保しながら、被災地の生産者と協同して産地・産物の再生をはかることはできないか、それが地域の復興にもつながるのではないかと、商品案内で福島の桃を企画します。ぜひご利用ください。



6月中旬の桃畑

JA伊達みらい もも生産部会 部会長
齋藤 栄慶(しげよし)さん



木の上から一本ずつ除染します

昨年、福島県の農業は、三つの苦難を経験しました。東日本大震災、東京電力原発事故、そして風評被害。昨年の桃は糖度も良く豊作だったにもかかわらず、販売面では厳しい現実と直面しました。その苦しみ乗り越えるべく、冬季に果樹園での除染作業を実施。そして、ふたたび春を迎えました。いま、農家の心の中には、復活への希望と、不安が渦巻いておりますが、今年こそ苦難を乗り越え、安全で高品質な「伊達の桃」をみなさまにお届けできるよう作業に励んでまいりたいと思います。

安全で高品質
自慢の桃です



4月の終わり、桃の花が満開

co-op 共済だより

コープ共済 CO-OP共済 (たすけあい)の状況
(2012年5月21日～2012年6月20日)

共済金お支払い件数	1,530件
共済金お支払い金額	58,597,500円
保有件数	86,268件(6月20日現在)

出典：コープ共済連データより

コープ共済 CO-OP共済 (あいぶらす)の状況
(2012年5月21日～2012年6月20日)

共済金お支払い件数	122件
共済金お支払い金額	12,295,000円
保有件数	19,801件(6月20日現在)

出典：コープ共済連データより

8月の相談会のお知らせ

保障の何でも個人相談会

可見店・長良店・恵那店・飛騨支所…8月11日(土)
相談時間はお一人1時間です。事前にご予約ください。
相談員：組合員LPA 相談時間：午後1時～午後5時
相談会のご予約は、共済事務センター
☎058-370-6713(受付時間月～土 午前9時～午後5時30分)

広げよう、献血の輪!

コープ共済は献血推進活動を応援します。

今年度の献血会場のご案内

～常設会場～

- 岐阜県赤十字血液センター(あかねべ献血ルーム)
岐阜市茜部中島2の10
TEL 058-272-6911 休日/日曜日、年末年始
URL <http://www.10.ocn.ne.jp/~gifu/>
- 新岐阜献血ルーム
名鉄岐阜駅北 岐阜ビル5階
TEL 058-264-2122 休日/年末年始
- 多治見駅前献血ルーム
駅前プラザ・テラ4階
TEL 0572-23-0227 休日/木曜日・年末年始
～街頭献血会場～
県内各市町村の移動採血車の巡回予定や詳細は血液センターのホームページをご覧ください。

岐阜県赤十字血液センター

URL <http://www.10.ocn.ne.jp/~gifu/>
ご不明点などのお問い合わせは…
岐阜県赤十字血液センター渉外課
TEL 058-272-6911

住まいの情報 8月

新築向け住まいづくり講座 要予約 1家族500円

会場 多治見店……………8月18日(土)
時間 13時30分～16時30分(3時間集中講座)

土地探し&相談 要予約 無料

会場 多治見店……………8月18日(土)
時間 10時～12時(お一人様50分程度)

いつでもどこでも相談 要予約 無料

- ご自宅もしくはお近くの生協施設で、事業部とコープ提携の専門家と一緒に相談を伺います。
- 日時の調整のため、希望日を2～3日お伝えください。

各詳細はコープ共済ホームページをご覧ください。

生協住宅事業部
☎0120-706-866

2012年度 第2回理事会 (6/26) だより

1. 5月期決算について承認しました。

《5月度事業結果》

供給高……………	20億1,560万円	計画比103.1%	昨比 98.5%
供給高累計……………	41億6,477万円	計画比102.3%	昨比101.4%
組合員数……………	213,078名	計画比 99.9%	(加入1,054名)
出資金……………	38億2,595万円	一人当たり出資金	17,956円

事業経費は、人件費は計画比100.3%、物件費は計画比90.9%となり、経常剰余金は▲1,117万円と計画に+3,008万円となりました。

2. 地域と協同の研究センター 2012年度通常総会の議決者登録と理事推薦について承認しました。
3. 西濃地区JSS不正事件今後の対応について承認しました。

第29回 沖縄戦跡・基地めぐり報告

「まず沖縄から。そして日本の平和を考える」をテーマに、沖縄戦と基地を学び、現在の沖縄における諸問題や、これからの平和をめぐる課題について考え合う機会とし、3月27日(火)～29日(木)、沖縄戦跡・基地めぐりが行われました。コープぎふからは、基本コースに3名、親子コースに2組の親子が参加しました。

県立平和祈念資料館、沖縄戦におけるすべての犠牲者の名前が刻まれている「平和の礎(いしじ)、ひめゆり平和祈念資料館、戦後になって住民の手で最初に作られた骨塚である「魂魄(こんぱく)の塔」、住民と日本兵が隠れていた天然の壕である「ガマ」、嘉手納基地の脇にある「安保の見える丘」・「道の駅かでな」等をめぐり、参加者はガイドさんからの説明に熱心に耳を傾けていました。



辺野古では米軍基地境界のフェンスで説明を受けました



島袋淑子さんは大きな地図を使いながらお話いただきました。

参加者の感想(一部抜粋)

木村さん

辺野古のテントに行きました。座り込み2901日目でした。海上で、非暴力で基地建設を阻止する人々を知ってから、是非行きたいと思っていた所でした。思ったより小さなテントと漁場。それに比べて、フェンスの向こうは、見えにくい広い土地を米軍が占領していることがわかりました。「基地はどっかにもってけ、ではなく撤去せよ。どこにもいらない。」という訴えに、私もそれが真に戦争のない世界にする道だと思いました。

中学1年 西部さん

私は決めました。私が学んだことを少しでもいいから、友達に教えてあげよう。日本には、以前の私のように何も知らない人がたくさんいます。そんな人たちが、少しでも基地問題を理解してくれたらうれしいです。

健康と平和の思いを鶴に託して

恵那中津支所エリア委員会

「指先のリハビリにもなるから」と、おばあちゃんは、ずっと鶴を折られています。折った鶴を役立てて欲しいと、以前から支所に預けられていました。

おばあちゃんは高齢で、目が不自由、鶴も手探りで折るという状態ですが、1年をかけてせせと折られました。「いつまで折れるかわからないけど…」

「この鶴は大事に長崎に持っていきますね。来年もまた、元気で鶴を折ってくださいね。」とエリア委員。

託された鶴は、エリア委員会メンバーで一つ一つ大切に繋ぎ、昨年夏、長崎平和公園に奉納することができました。お

ばあちゃんに報告するととても喜んでいただきました。今年もまた鶴が支所に届き、「ああ、おばあちゃん元気で鶴を折ってくれたんだ! 私達も頑張らないと!」と、みんなでおばあちゃんを思いながら鶴を繋ぎました。



恵那中津支所
エリア委員

鶴を折ってくださった
安藤くわ子さん